


【様式1】外国人の子供等の就学に関する検討会ワーキンググループ①に係るICT活用事例

校種・学年	小学校・第6学年
教科・単元名等	総合「世界遺産について調べよう」
事例の概要	・翻訳アプリを使い、母語で言葉の意味を把握しながら学習課題に取り組む。
学習展開	<p>1 学習課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○母国や日本の有名な世界遺産の写真を見せて、どこの国のどんな世界遺産かをクイズ形式で出題し、世界遺産に興味を持つ。 ○世界遺産を端末で検索し、紹介したい世界遺産を選ぶ。 <p>2 各自で課題に取り組む。(紹介したい世界遺産のスライドを作成する。)(図1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○端末を使い、世界遺産について調べたことをメモする。 ・紹介したい世界遺産の母語のウェブページを読み、スライドにまとめるのに必要な箇所を翻訳アプリを使って日本語に直す。 ・わからない用語や言葉は、翻訳アプリを使って確認する。(図2) ・わかりにくい言葉で困っているときは、辞書で意味を調べたり、教師がやさしい日本語を教えたりする。 ○Google スライドを活用し、世界遺産を紹介するスライドを作成する。 <p>3 発表練習をするとともに、互いの発表練習を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○作成したスライドを見ながら各自発表の練習をする。 ○発表練習を見合っ、よい点や改善点をお互いに助言する。 ○教師は発表練習の様子を録画する。 ○友達からの助言や録画した自分の発表の様子をもとに発表について改善する。 <p>4 作成したスライドを発表し合う。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>図1 「活動の様子」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>図2 「タブレットの画面」</p> </div> </div>
活用したアプリ 機器等	DeepL 翻訳、Google 翻訳、Google 画像検索 一人一台 ICT 端末 (Chromebook)
ICT活用の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・翻訳アプリを活用することで、学習課題を母語で考えられたので、主体的に取り組めた。 ・録画した発表の様子を端末で確認したことで、発表の手順や話し方を改善したいという意欲につながった。
児童生徒の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・わからない言葉があるときに、翻訳アプリですぐ調べることができるので、調べ学習に取り組みやすかった。 ・自分の話す様子を動画で見て、よいところやよくないところに気づくことができた。次回は上手に話そうと思った。